



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化し 電柱を撤去します

地元の声

- ・災害時に道を塞がないようにしてほしい。（地元住民）
- ・すっきりした景観を作ってほしい。（高崎市内通勤者）

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

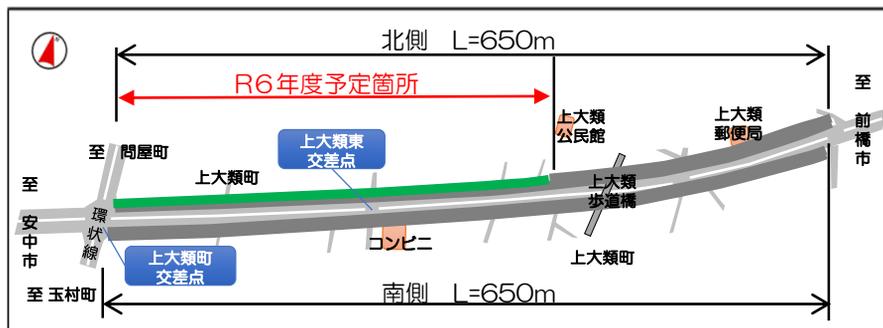
- 事業箇所：高崎市上大類町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 1,300m
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和5年度は、住宅、商業施設への引込・連系管工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

